

2 海外水ビジネス

アジア諸国をはじめとした人口増加や都市化の進展に伴い、海外水ビジネスは2025年には約87兆円規模の市場になると予測されており、国の「日本再興戦略」や本市の「新成長戦略」の柱の一つに位置づけられている。

本市はこれまで培ってきた国際技術協力の実績やアジア諸都市とのネットワークなど本市独自の強みを活かし、北九州市海外水ビジネス推進協議会を中心に官と民が力を結集し一丸となった活動を行い、海外水ビジネスの発展、併せて国際貢献に取り組んでいる。

主な取り組み

(1) 「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の設立

平成22年8月、幅広い業種にわたる企業（設立当初57社）を始め、学識者、国の省庁等関係機関の参加を得て「北九州市海外水ビジネス推進協議会（以下、協議会）」を発足させ、全国の自治体で初めて、海外水ビジネスを官民一体となって推進する体制を整えた。

協議会では、これまでの技術協力で培った強い人的ネットワークを持つカンボジア国、ベトナム・ハイフォン市、中国・大連市、インドネシア国を対象に、参加企業や関係機関の情報共有を図り、海外展開の手法の検討、具体的な案件形成に向け、一丸となった活動を行っている。

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の組織体制

（平成30年10月1日時点）

北九州市海外水ビジネス推進協議会

※「北九州市海外水ビジネス推進協議会」はアジア低炭素化センターに設置する「事業化推進研究会」の一つとして位置づける。

会長 富増 健次（㈱北九州ウォーターサービス 代表取締役社長）
副会長 有田 仁志（北九州市上下水道局 局長）

オブザーバー（6機関）

- 総務省
- 厚生労働省
- 経済産業省
- 国土交通省
- 日本下水道事業団
- (財)下水道新技術推進機構

会員

民間企業（148社）

- 市内企業（84社）
- 市外企業（64社）

関係機関（9機関）

- 北九州商工会議所
- 国際協力銀行（JBIC）
- (社)日本水道協会
- 下水道グローバルセンター
- アジア低炭素化センター
- JICA九州
- (株)日本政策投資銀行
- (独)中小企業基盤整備機構九州本部
- (独)日本貿易振興機構（JETRO）

学識経験者（4教授）

- 九州大学 楠田 哲也 名誉教授
- 九州共立大学 森山 克美 名誉教授
- 東洋大学大学院 サム 田淵 教授
- 北九州市立大学 安井 英育 教授

市関係局（4部局）

- 企画調整局
- 環境局
- 産業経済局
- 上下水道局

事務局 ㈱北九州ウォーターサービス

(2) ミッション団の派遣

協議会の具体的な活動の第1弾として、平成22年11月にベトナム・ハイフォン市へミッション団を派遣した。

平成23年4月には、中国・大連市政府の要請に基づき大連市にミッション団を派遣。「北九州市水ビジネスセミナー」及び「展示商談会」を開催した。

(3) PR活動やビジネスマッチングなど

「VIETWATER 2013（平成25年10月）」に協議会ブースを出展、また、カンボジア国・プノンベン市での水ビジネスセミナー展示会・商談会に参加し、会員企業の技術の世界へPRした。

また、平成29年12月には、厚生労働省、国土交通省及び北九州市海外水ビジネス推進協議会とともに、「日本カンボジア上下水道セミナー」を開催。初めての上下水道分野共同で行うものでカンボジアにおける日本の上下水道分野の協力の歴史と成果を発表するほか、同協議会の会員企業によるプレゼンテーションを行った。

プノンベン市での水ビジネスセミナー展示会・商談会

(4) これまでの成果

このような官民一体となった活動により、徐々に成果が生まれつつある。

【カンボジアの主な受注案件等】

- 平成23年 3月 シェムリアップ市浄水場建設基準設計補完業務
- 同年 8月 センモノロム市の水道整備基本計画、実施設計、施工管理業務。平成24年6月に正式契約
- 同年12月 主要9都市の水道基本計画策定（今後4年）に係る技術的コンサルティング業務実施の覚書をカンボジア国鉱工業エネルギー省と締結
- 平成24年 1月 カンボット、ケップ両市の水道事業計画及び管路計画に係る基礎調査
- 同年 5月 バッタバン、コンボンチャム両市の水道拡張整備の準備調査業務
- 平成25年 2月 シェムリアップ市における下水道整備計画等策定業務
- 同年 7月 ベンベン市におけるJCM案件形成可能性支援事業
- 同年 8月 コンボンチャム、バッタンバン両市における上水道拡張計画事業
- 同年10月 カンボジア国対象本邦下水道研修開催支援業務
- 平成26年 5月 カンボット及びシハヌークビルにおける地方上水道拡張整備計画準備調査
- 同年 5月 カンボジア国・プノンベン水道公社における浄水場設備の高効率化によるエネルギー削減（JCM案件組成調査）事業
- 同年 8月 カンボジア・プノンベン都下水・排水改善プロジェクト
- 平成27年 6月 経済産業省・平成27年度インフラシステム海外展開促進調査等事業
- 同年 9月 カンボジア・カンボット市水道施設拡張事業・詳細設計業務
- 同年12月 カンボジア・シェムリアップ市上水道拡張事業・詳細設計業務
- 平成28年 1月 カンボジア王国水道の持続的発展をはかる為の活動に関する覚書を締結
- 平成29年 2月 カンボジア国・プノンベン都と「下水道分野における技術協力・交流に関する覚書」を締結
- 平成29年 5月 プルサット及びスバイリエント上水道拡張整備計画準備調査
- 平成30年 4月 プノンベン都下水処理場整備計画準備調査

【ベトナム国の主な受注案件等】

- 平成23年10月 ハイフォン市と上下水道整備に係る覚書締結
今後5年以内に導入する配水ブロックシステムの技術的コンサルティング業務を実施することに合意
- 同年11月 厚生労働省のPPP初期調査事業
- 平成24年 2月 ハイフォン市の下水道人材育成業務
- 平成25年 5月 ハイフォン市におけるU-BCF整備事業を協議会会員企業（現地法人）受注同年5月 ベトナム・ハイフォン市水道公社と「ベトナム国におけるU-BCF普及に向けた相互協力協定」を締結
- 同年12月 ビンバオ浄水場にU-BCFが完成
- 同年12月 ベトナム国 地方上下水道セクター情報収集・確認調査（8都市での高度浄水処理技術U-BCFのニーズ調査）を協議会会員企業が受注
- 平成26年 7月 ベトナム・ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画準備調査
- 平成27年 3月 ハイフォン市水道公社は、協議会会員企業へ「ハイフォン市水道公社マッピングシステム再構築業務」の発注を決定。
- 平成28年 2月 ベトナム地方6都市U-BCF実証実験（中小企業海外展開支援事業）
- 同年 7月 ベトナム・ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画・詳細設計業務
- 平成29年 2月 ベトナム・ハイフォン市下水道施設情報管理システム整備事業

【インドネシア国の主な受注案件等】

- 平成24年11月 スラバヤ市下水道整備計画策定業務を国土交通省から受注（協議会会員企業と共同）
- 平成25年 6月 スラバヤ市における低炭素都市計画策定のための技術協力（JCM 案件）に協力
- 平成26年 2月 ジャカルタ特別州下水道整備事業に係る補充調査業務
- 同年 9月 インドネシア対象本邦下水道研修開催支援業務
- 平成28年 4月 インドネシア・ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクトに係る本邦研修実施業務

(5) 水ビジネスの国際戦略拠点づくり

平成24年4月、北九州市は国土交通省より、国際展開に先進的に取り組む地方公共団体として、水・環境ソリューションハブ（WES Hub）の構成メンバーに認定された。

この認定を契機に、海外での競争力・優位性の確保、国際ビジネス基盤の強化を図り、海外水ビジネスをより一層加速させるため、ウォータープラザやビジターセンターを備えた「水ビジネスの国際戦略拠点」を整備し、活用を図っている。



【トピックス】上下水道ユース研修

上下水道分野の「インフラ整備を担う人材育成」や「国際技術協力などの情報発信」を目的に、JICA九州との共同主催により「上下水道ユース研修」を実施。

56人の応募の中から選ばれた市内高校生6人が、7月末の国内研修の後、8月6～11日の期間にベトナム・ハイフォン市での海外研修に参加した。

11月には、「北九州市SDGs未来都市 キックオフイベント」で、参加高校生による研修成果の発表も行われた。

ハイフォン市の浄水場視察の様子

研修成果発表の様子